

2022 年度

就職に関する広島文教大学卒業生アンケート

集計結果

2023 年 7 月 19 日

広島文教大学キャリアセンター

1. 実施概要

(1) 目的

本学の教育環境改善のため、以下の内容の資料を得る。

- ① 卒業後の就職等の状況把握
- ② 在学中に受けたキャリア教育や就職支援に対する評価
- ③ 現在の仕事に必要なとされている能力の把握

(2) 対象

	郵送数(人)
2022 年 3 月卒業生	322
2020 年 3 月卒業生	254
対象者数	576

※ 現住所が確認できた卒業生のみ郵送

(3) 回答期間

2022 年 3 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

(4) 回答方法

郵送および Web

2. 回答者数・回答率

	回答者数(人)	回答率(%)
2022 年 3 月卒業生	65	20.2%
2020 年 3 月卒業生	32	12.6%
全回答数	97	16.8%

I. 回答して下さるご本人の状況についてお聞きします。

問 1. あなたの卒業年を教えてください。

	回答者数(人)	回答率(%)
2022 年 3 月卒業生	65	67.0%
2020 年 3 月卒業生	32	33.0%
全回答数	97	100.0%

問 2. あなたが在籍されていた学科を教えてください。

所属学科	回答者数 (人)	割合 (%)	2022 年 (人)	2020 年 (人)
初等教育学科	43	44.3%	25	18
人間福祉学科	16	16.5%	9	7
心理学科	13	13.4%	11	2
人間栄養学科	17	17.5%	12	5
グローバルコミュニケーション学科	8	8.2%	8	0
合計	97	100.0%	65	32

問 3. あなたの現在の居住地（都道府県名、海外の方は国名）を教えてください。

居住地	全体(人)	割合(%)	2022 年 (人)	2020 年 (人)
広島県	59	60.8%	35	24
山口県	12	12.4%	9	3
島根県	11	11.3%	8	3
愛媛県	3	3.1%	1	2
福岡県	2	2.1%	2	0
鳥取県	1	1.0%	1	0
大分県	1	1.0%	1	0
徳島県	1	1.0%	1	0
兵庫県	1	1.0%	1	0
大阪府	1	1.0%	1	0
京都府	1	1.0%	1	0
神奈川県	1	1.0%	1	0
静岡県	1	1.0%	1	0
福島県	1	1.0%	1	0
インドネシ ア	1	1.0%	1	0
合計	97	100.0%	65	32

問 4. 現在あなたは働いていますか。

	全体(人)	割合(%)	2022 年(人)	2020 年(人)
働いている	92	94.8%	62	30
働いていない	5	5.2%	3	2
合計	97	100.0%	65	32

(1) 「働いている」と答えた方にお聞きします。

現在在籍されている会社・団体はどれに該当しますか。

	全体(人)	割合(%)	2022 年(人)	2020 年(人)
教育・学習支援業	27	29.3%	16	11
医療・福祉	26	28.3%	18	8
幼稚園・保育所	19	20.7%	10	9
卸売・小売業	7	7.6%	5	2
製造業	5	5.4%	5	0
サービス業	4	4.3%	4	0
金融・保険業	2	2.2%	2	0
飲食業・宿泊業	1	1.1%	1	0

その他（アルバイト）	1	1.1%	1	0
合計	92	100.0%	62	30

(2) 問 4 で「働いていない」と答えた方にお聞きします。

卒業後、就職したことがありますか。

	回答者数 (人)	割合 (%)	2022 年 3 月卒業生 (人)	2020 年 3 月卒業生 (人)
就職したことがある	1	50.0%		1
就職したことはない	1	50.0%	1	
計	2	100.0%	1	1

問 5. 就職後の離職について、離職経験がある場合は、その回数を教えてください。

	回答者数 (人)	割合 (%)	2022 年 3 月卒業生(人)	2020 年 3 月卒業生 (人)
1 回	4	80.0%	4	
2 回	1	20.0%		1
計	5	100.0%	4	1

問 6. 離職の経験がある方にお聞きします。

卒業後、最初の勤務先の退職理由は何ですか。理由を 3 つ以内で教えてください。

	全体(人)	2022年(人)	2020年(人)
病気やストレス等心身の不調のため	3	1	2
職場の人間関係がよくなかった	2	1	1
労働時間や休みなどの待遇がよくなかった	2	1	1
仕事が合わなかった	1	0	1
結婚・妊娠・出産・育児のため	1	0	1
仕事量が多いなど体力的にきつかった	1	0	1
ノルマや責任が重いなど精神的にきつかった	1	0	1
仕事にやりがいを持てなかった	1	0	1
賃金の条件が良くなかった	0	0	0
他にやりたいことがあった	0	0	0
その他(残業代が支払われなかった)	1	1	0
合計	13	4	9

4 つ以上選択している場合も集計対象としている。

問 7. 将来、社会人や職業人として自立していくために大学時代に優先的に取り組むべきと思われることや、学生に向けたアドバイス等がございましたら記入してください。

(自由記述は一部抜粋)

【2022 年 3 月卒業生】

- ・グループワークやゼミでの活動に力を入れる。
- ・一つでも多くの資格を取得しておく。
- ・人と話す力をつける。
- ・様々なことに積極的に取り組む。
- ・アルバイトとボランティア活動、イベントを通じた社会的人間関係の構築。
- ・専攻している学問の深い理解、習得の徹底。
- ・資格取得しておくのと良い。履歴書にも書くことができ、就職の選択も広がる。
- ・社会人になったら勉強する時間が取りにくくなるので、しっかり勉強しておく。
- ・周りの人を頼って頑張ってもらいたい。
- ・何事にも早めの行動が必要。
- ・後悔のないように興味のあること全て挑戦する。
- ・提出物の期限を守る習慣をつけておく。
- ・アルバイトなどで社会経験を積む。
- ・規則正しい生活を送る。
- ・いろいろな経験(留学、バイト、旅行など)を時間があるうちに積極的にすること。
- ・自分の考えや意見を言語化できるようになること。
- ・多面的に物事を捉える。
- ・いろいろな経験をして、たくさんの人と関わることが大切。
- ・多面的に物事を捉える。
- ・メンタルを鍛える。
- ・ボランティアを通して、現場の様子を知る。
- ・企業研究、仕事内容や配属先について事前にしっかり確認しておく。
- ・留学。
- ・サークル活動等を通して、先輩や先生との関わり方について学んでおく。
- ・自分が保育士、幼稚園教諭の担任になった場合を想定しておくこと。一日をどのように過ごすのか、自分のクラスで経験して欲しいこと、保育者が実際どのような保育をしているのかを学んでおく自分が担任になった時に保育を進めやすい。
- ・情報系の講義の受講、英語の勉強、アルバイト。
- ・面接練習やマナー講座の受講。
- ・行動力と先を読む力をつけておく働きやすい。
- ・貯金と外国語学習。
- ・不安があれば、就職課で相談すると良い。何度も相談したことで、安心して就職活動に臨めた。

【2020 年 3 月卒業生】

- ・資格取得、マナー、言葉遣いに気をつける。
- ・やれることを仕事にするか、やりたいことを仕事にするかしっかり悩む。
- ・アルバイトでお金を稼ぎ、働く責任をもつ。
- ・ボランティア活動を通じて興味のある分野を経験しておくことで、就職後、その経験が様々な場面で活きる。
- ・礼儀やマナーを身につけておく。
- ・子どもの理解。手遊び。
- ・ボランティア活動やアルバイトを経験しておく職場での人間関係の構築に役立つ。
- ・友達と遊ぶ。交流関係を広げる。
- ・国家試験の勉強は、仕事との両立が難しいので、できるだけ大学時代に勉強しておく。
- ・専門職に就くのであれば、実践的な活動に取り組んでおく。
- ・アルバイトで社会を経験しておく。
- ・苦手なことにもチャレンジし、自分でも気付かなかった新しい自分を見つけてほしい。
- ・アルバイトで社会を経験しておく。
- ・優先順位のつけ方や時間の使い方、周りを見る力など基本的なことを身につけておく。
- ・自分の意見を持ち、発信すること。社会に出ると自分で最善策を考えて行動するようになる。待っていても何も進まないの、自分の意見を持つこと。人任せにせず自分から考え、行動する力は大学生活の中で身につく。
- ・インターシップ参加。
- ・たくさんの人に会い、たくさんの人と話をし、たくさんチャレンジすること。
- ・保育職であれば、ピアノで弾ける曲や、手遊びを増やし、パネルシアターなどを作っておくと、就職後にすぐ使えて、ゆとりがもてる。

Ⅱ. 在学中に身につけたディプロマ・ポリシーが、現在勤務している企業または団体で活かしているかをお聞きます。

問1. 自らの目標達成のために解決しなければならない課題に対して、状況に対する正しい理解とれに基づく最適な判断、そして積極的な態度で行動することができていると思いますか。

	非常にできている	ある程度できている	どちらとも言えない	あまりできていない	全くできていない
2022年(人)	6	41	14	4	0
2020年(人)	3	21	8	0	0
合計	9	62	22	4	0

問2. 予測困難な社会の中で、たくましく生き抜いてゆこうとする姿勢が身についていると思いますか。

	非常に身についている	ある程度身についている	どちらとも言えない	あまり身につけていない	全く身につけていない
2022年(人)	8	41	11	4	1
2020年(人)	6	23	3	0	0
合計	14	64	14	4	1

問3. 言語に関わる高度なリテラシーを獲得し、それに基づくコミュニケーション能力を実践的生活に活用することができていると思いますか。

	非常にできている	ある程度できている	どちらとも言えない	あまりできていない	全くできていない
2022年(人)	6	37	15	7	0
2020年(人)	1	18	9	4	0
合計	7	55	24	11	0

問4. 学位プログラムに関わる専門的な知識・技能を獲得し、それを職業生活において活用することができていると思いますか。

	非常にできている	ある程度できている	どちらとも言えない	あまりできていない	全くできていない
2022年(人)	8	30	14	12	1
2020年(人)	5	20	4	2	1
合計	13	50	18	14	2

問5. 「育心育人」の精神に基づく他者への配慮、多様性への理解、自らの人間性の向上を通して人間性あふれる豊かな社会を実現しようとする態度が身についていると思いますか。

	非常に身についている	ある程度身についている	どちらとも言えない	あまり身につけていない	全く身につけていない
2022年(人)	8	34	18	5	0
2020年(人)	5	20	6	1	0
合計	13	54	24	6	0

■ 全回答者集計 (回答：97 人)

		非常にできている 非常に身についている		ある程度できている ある程度身についている		どちらとも言えない		あまりできていない あまり身についていない		全くできていない 全く身についていない	
		全体(人)	割合(%)	全体(人)	割合(%)	全体(人)	割合(%)	全体(人)	割合(%)	全体(人)	割合(%)
①	自らの目標達成のために解決しなければならない課題に対して、状況に対する正しい理解とそれに基づく最適な判断、そして積極的な態度で行動することができるか	9	9.3%	62	63.9%	22	22.7%	4	4.1%	0	0.0%
②	予測困難な社会の中で、たくましく生き抜いてゆこうとする姿勢が身についているか	14	14.4%	64	66.0%	14	14.4%	4	4.1%	1	1.0%
③	言語に関わる高度なリテラシーを獲得し、それに基づくコミュニケーション能力を実践的生活に活用することができるか	7	7.2%	55	56.7%	24	24.7%	11	11.3%	0	0.0%
④	学位プログラムに関わる専門的な知識・技能を獲得し、それを職業生活において活用することができるか	13	13.4%	50	51.5%	18	18.6%	14	14.4%	2	2.1%
⑤	「育心育人」の精神に基づく他者への配慮、多様性への理解、自らの人間性の向上を通して人間性あふれる豊かな社会を実現しようとする態度が身についているか	13	13.4%	54	55.7%	24	24.7%	6	6.2%	0	0.0%
合計		56	16.3%	285	82.8%	102	29.7%	39	11.3%	3	0.9%

Ⅲ. 在学中にディプロマ・ポリシーを達成するために役立った活動についてお聞きします。

問 1. 卒業後の社会生活においてディプロマ・ポリシー達成に役だったと思う「大学時代の授業や活動」について教えてください。理由を 3 つ以内で答えてください。

	全体(人)	割合(%)	2022年(人)	2020年(人)
①実習・インターンシップ	56	18.2%	39	17
②アルバイト	55	17.9%	40	15
③学業全般	53	17.2%	29	24
卒業研究としての研究室・ゼミ活動	32	10.4%	26	6
ボランティア	30	9.7%	21	9
サークルや部活動	25	8.1%	12	13
親元を離れた一人暮らし	22	7.1%	17	5
就職活動	18	5.8%	14	4
旅行	14	4.5%	9	5
海外留学	3	1.0%	3	0
合計	308	100.0%	171	81

問 2. 上記問 1 で「学業全般」と答えた方にお聞きします。

1) 教養科目・専門科目のどちらの科目が役に立ったと思いますか。

	2022年(人)	2020年(人)
教養科目	1	0
専門科目	12	7
どちらも役に立っている	16	9
合計	29	16

※「学業全般」と回答していない学生の回答も集計対象とする。

2) その科目は、社会に出てどのように役立ちましたか。

(自由記述は一部抜粋)

【2022 年 3 月卒業生】

- ・ 転職。
- ・ 子ども、同僚、保護者、地域の方とコミュニケーションを取る時。
- ・ 専門的な知識が必要な場面で応用できている。
- ・ 福祉施設で介助を行う際、コミュニケーション技術が活かされている。
- ・ 日々の授業作りにおいて役立っている。
- ・ 子どもの心理を理解すること。
- ・ 現場での衛生管理、調理で役立っている。
- ・ 利用者様の背景を理解し、一人ひとりに合う支援、声掛けを模索し向き合い支援する中で、アセスメントやアプローチ、考え方の整理等において役立っている。
- ・ 教育の基礎になっている。
- ・ 心理学に関する科目は、ストレスチェックの重要性やメンタルヘルスへの理解度に役立っている。教養科目の情報の授業と英語の授業が、Office 系ソフトの作業や、取引先とのやり取りの英文翻訳等に役立っている。
- ・ 自分の考えや意見をまとめて文章にしたり伝えたりすることに役立っている。
- ・ 保育の授業の他に、異文化や言語の科目を履修したことで、実際に外国籍児や多文化に関わる中で実践できることが多く、履修して良かったと思っている。
- ・ 保護者からの質問に対する回答ができるようになった。

【2020 年 3 月卒業生】

- ・ 自ら学ぶ姿勢。
- ・ 教養科目は、興味を持てるものを広げることができた。専門科目は、仕事に活かせる。
- ・ 利用者との関わり方。
- ・ クラス運営。
- ・ 子ども理解につながっている。
- ・ 生徒指導対応、単元作りに役立っている。
- ・ 国家資格を取得し、働くのに役立った。

3) 社会人基礎力を身につけるために、特に役に立ったと思う授業科目を教えてください。

【2022 年 3 月卒業生】

- ・ 心理学専門演習（ゼミ）
- ・ 臨床栄養・栄養教育論
- ・ 病理学、情報
- ・ くらしと経済
- ・ 乳児保育
- ・ 実習
- ・ 相談援助技術
- ・ 給食経営管理論（実習含む）
- ・ 心理アセスメント
- ・ 家族心理学
- ・ 精神疾患とその治療
- ・ 心理学の科目全般
- ・ 環境の科学
- ・ 読書と豊かな人間性
- ・ キャリア形成概論
- ・ ビジネス文書
- ・ 総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ、卒業研究
- ・ 英語コミュニケーション
- ・ 模擬授業

【2020 年 3 月卒業生】

- ・ 演習
- ・ 実践的な授業
- ・ 実習
- ・ ゼミ
- ・ 生徒指導
- ・ 各教科教育法
- ・ 初等教育学科の実技系・指導法系

◆ 本学の就職支援についてお聞きします。

問 1. 全体的な満足度はいかがでしたか。あてはまるものを 1 つ教えてください。

	全体(人)	割合(%)	2022 年(人)	2020 年(人)
満足	52	53.6%	36	16
やや満足	19	19.6%	13	6
どちらともいえない	21	21.6%	11	10
やや不満	3	3.1%	3	0
不満	0	0.0%	0	0
無回答	2	2.1%	2	0
合計	97	100.0%	65	32

問 2. その理由を記入してください。

(自由記述は一部抜粋)

* 「満足」「やや満足」理由

【2022 年 3 月卒業生】

- ・長く務めたいと思える園に出会えた。
- ・希望をすれば面談の時間をしっかりと取ってくださり、話ができた。
- ・就職課の先生方がとても親切で、親身になって話を聞いてくださった。
- ・たくさんのセミナーがあった。
- ・就職課に相談しやすかった。
- ・履歴書添削や面接練習等手厚いサポートがあった。
- ・履歴書や面接練習など寄り添って指導して下さり、自分の第一志望の園に就職することができた。
- ・質問にすぐに応えてくださった。定期的に電話をかけて気にかけてくださった。
- ・面接やグループディスカッションの練習ができた。
- ・就職課で過去の就職試験報告書を見ることができた。就職課を利用するのは、一般就職希望の人だけ

- という認識が 1, 2 年生の時にはあった。講座の具体的な内容、教育学科が参加するメリットなど、早い段階でもっと知りたかった。就職課からだけでなく学科からも案内が欲しかった。
- ・面談では丁寧にアドバイスをしてくださり、就職ガイダンスでは就職活動に関する様々なことを学ぶことができた。
 - ・履歴書添削や面接練習をしていただいたことで、自信を持って本番に臨むことができた。
 - ・就職活動をどのように進めていけば良いのか分からず、何もしていなかった私に、基本的なことから話をしてくださった。自分の長所や短所を違う角度から発見してもらえた。
 - ・海外就職にも熱心に寄り添ってくださった。

【2020 年 3 月卒業生】

- ・ハローワークと連携し、私の就きたい仕事を紹介してくださった。就職までの支援が手厚かった。
- ・どんな質問にも答えてもらえた。
- ・在学中とても助けていただいた。
- ・県外の情報がかなり少なかった。
- ・悩んだ時にはすぐ相談ができた。

- ・履歴書の書き方や自分に合っている就職先を紹介してもらった。
- ・国家資格も取得でき、新しい友人もできた。
- ・大変手厚い支援だった。
- ・いつも優しく迎えてくださり応援してくださった。
- ・親身になって相談にのってくださった。

* 「どちらともいえない」理由

【2022 年 3 月卒業生】

- ・あまり利用していない。
- ・就職した法人の奨学金を借りていた関係で、就職活動らしいことを大学生時代にしていない。

【2020 年 3 月卒業生】

- ・あまり利用していない。

* 「やや不満」理由

【2022 年 3 月卒業生】

- ・いつまでに何をすれば良いのか具体的にはよくわからなかった。
- ・公務員試験対策講座をもっと早く取り入れて欲しかった。

- った。
- ・県外の私立幼稚園の案内がなかった。

【2020 年 3 月卒業生】

- 回答なし

問3. 以下の就職課の支援で役に立ったものは何です

	全体(人)	割合(%)	2022 年 (人)	2020 年 (人)
①面接練習	52	28.6%	32	20
②履歴書添削	43	23.6%	32	11
②就職相談	43	23.6%	28	15
全員面談	17	9.3%	15	2
就職課支援ガイダンス	10	5.5%	7	3
OG 座談会 (BUNKYO 卒業生就職 座談会)	10	5.5%	7	3
業界研究セミナー	4	2.2%	3	1
就職試験・SPI 対策	2	1.1%	2	0
公務員講座	1	0.5%	0	1
小論文対策講座	0	0.0%	0	0
実践的業界研究会	0	0.0%	0	0
その他	0	0.0%	0	0
合計	182	100%	94	36

問4. 就職課の支援以外に、就職活動に役立ったことがあれば教えてください。

(自由記述は一部抜粋)

【2022 年 3 月卒業生

- ・教職センターの先生方、ゼミの先生
- ・大学受付けのボランティア募集の案内
- ・ビジネス文書の講義
- ・希望勤務地に合格した OG や先輩の話
- ・秘書検定講座
- ・先生方のご好意の授業

【2020 年 3 月卒業生】

- ・実習
- ・教育学部先生方の空きの日や放課後を利用した指導
- ・ゼミ